

業績ハイライト

— 平成31年3月期第2四半期決算について —



目次

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	4
3. 貸出金の状況	…	5
4. 預金の状況	…	6
5. 預かり資産の状況	…	7
6. 有価証券の状況	…	8
7. 金融再生法開示債権の状況	…	9
8. 経営指標	…	10
9. 平成31年 3月期 業績予想及び配当方針	…	10

1. 損益の状況

① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	30年9月期	29年9月期	前年同期比		30年3月期 (参考)
			前年同期比	増減率	
連結経常収益	21,398	21,224	173	0.8	42,666
経常利益	1,760	1,502	257	17.1	3,717
親会社株主に帰属する中間純利益	1,242	1,183	58	4.9	3,018

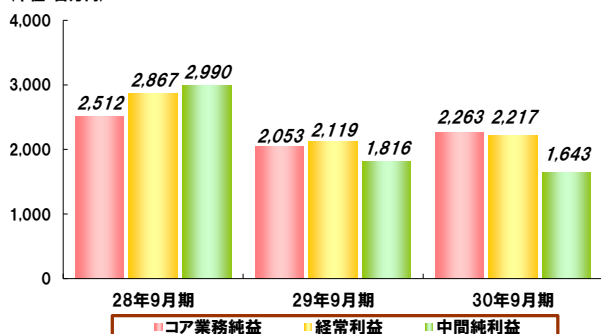
- 連結経常収益は213億98百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は12億42百万円となりました。なお、中間期に増収増益となるのは、4期ぶりとなります。

② 2行合算

(単位:百万円、%)

	30年9月期	29年9月期	前年同期比		30年3月期 (参考)
			前年同期比	増減率	
経常収益	19,080	18,679	401	2.1	37,419
業務粗利益	15,091	14,746	345	2.3	29,669
資金利益	13,807	14,423	△ 616	△ 4.2	28,619
役務取引等利益	776	756	19	2.6	1,874
その他業務利益	507	△ 434	942	-	△ 824
うち国債等債券損益	157	△ 409	567	-	△ 807
経費(除く臨時処理分)	12,670	13,102	△ 431	△ 3.2	25,989
うち人件費	6,363	6,471	△ 108	△ 1.6	12,815
うち物件費	5,397	5,611	△ 213	△ 3.7	11,227
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	2,421	1,644	777	47.2	3,679
コア業務純益	2,263	2,053	209	10.2	4,487
一般貸倒引当金繰入額	-	△ 48	48	-	△ 119
業務純益	2,421	1,692	728	43.0	3,799
臨時損益	△ 203	426	△ 629	-	515
うち不良債権処理額	657	196	460	234.4	826
うち個別貸倒引当金繰入額	-	93	△ 93	-	470
うち貸倒引当金戻入益	256	387	△ 131	△ 33.8	289
うち株式等関係損益	502	508	△ 5	△ 1.0	1,474
経常利益	2,217	2,119	98	4.6	4,315
特別損益	△ 146	△ 73	△ 72	-	△ 299
中間純利益	1,643	1,816	△ 173	△ 9.5	3,489
与信関係費用	400	△ 240	641	-	407

(単位:百万円)



- 2行合算の経常収益は、前年同期比4億1百万円増加の190億80百万円(増減率2.1%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、その他業務利益(国債等債券損益除く)の増加に加え、経費の減少等により、前年同期比2億9百万円増加の22億63百万円(増減率10.2%)となりました。
- 経常利益は、臨時損益が減少したものの、コア業務純益の増加等により、前年同期比98百万円増加の22億17百万円、中間純利益は、特別損益の減少、法人税等合計の増加により、前年同期比1億73百万円減少の16億43百万円となりました。

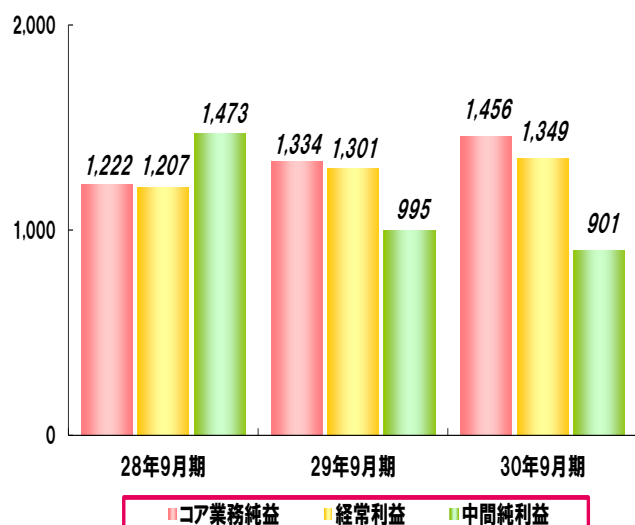
1. 損益の状況

③ きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	30年9月期	29年9月期			30年3月期 (参考)
			前年同期比	増減率	
経常収益	10,892	11,037	△ 145	△ 1.3	21,652
業務粗利益	8,951	8,734	216	2.4	17,570
資金利益	7,939	8,454	△ 515	△ 6.0	16,818
役務取引等利益	551	582	△ 31	△ 5.4	1,337
その他業務利益	460	△ 302	763	-	△ 585
うち国債等債券損益	158	△ 314	473	-	△ 620
経費(除く臨時処理分)	7,336	7,715	△ 378	△ 4.9	15,258
うち人件費	3,644	3,876	△ 231	△ 5.9	7,648
うち物件費	3,194	3,276	△ 81	△ 2.4	6,551
業務純益(一般貸倒繰入前)	1,615	1,019	595	58.3	2,311
コア業務純益	1,456	1,334	122	9.1	2,931
①一般貸倒引当金繰入額	-	-	-	-	-
業務純益	1,615	1,019	595	58.3	2,311
臨時損益	△ 265	281	△ 546	△ 194.3	158
②うち不良債権処理額	177	62	115	185.6	206
うち個別貸倒引当金繰入額	-	-	-	-	-
うち貸倒引当金戻入益	169	387	△ 217	△ 56.2	289
うち株式等関係損益	77	359	△ 281	△ 78.3	599
経常利益	1,349	1,301	48	3.7	2,469
特別損益	△ 69	△ 99	29	-	△ 174
中間純利益	901	995	△ 93	△ 9.3	1,952
与信関係費用	8	△ 325	333	-	△ 88

(単位:百万円)



- 経常収益は、資金利益が減少したことなどから前年同期比1億45百万円減少の108億92百万円(増減率△1.3%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したものの、経費が前年同期比で3億78百万円減少したことなどから、前年同期比1億22百万円増加の14億56百万円(増減率9.1%)となりました。
- 与信関係費用は、貸倒引当金戻入益が減少したことなどから、前年同期比3億33百万円増加の8百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比48百万円増加の13億49百万円となりました。中間純利益は法人税等調整額が増加したことから、前年同期比93百万円減少の9億1百万円となりました。

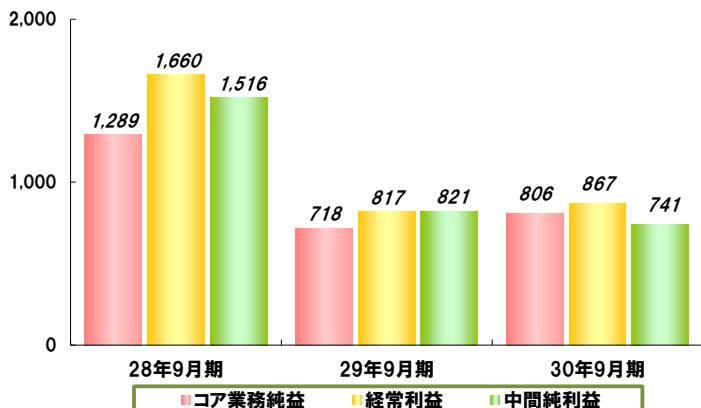
1. 損益の状況

④ 仙台銀行単体

(単位:百万円、%)

	30年9月期	29年9月期			30年3月期 (参考)
			前年同期比	増減率	
経常収益	8,188	7,641	546	7.1	15,766
業務粗利益	6,140	6,011	128	2.1	12,099
資金利益	5,867	5,969	△ 101	△ 1.7	11,800
役務取引等利益	225	174	51	29.4	537
その他業務利益	46	△ 132	179	-	△ 238
うち国債等債券損益	△ 0	△ 94	93	-	△ 187
経費(除く臨時処理分)	5,334	5,387	△ 53	△ 0.9	10,731
うち人件費	2,718	2,595	123	4.7	5,166
うち物件費	2,203	2,334	△ 131	△ 5.6	4,675
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	806	624	181	29.1	1,368
コア業務純益	806	718	87	12.2	1,555
①一般貸倒引当金繰入額	-	△ 48	48	-	△ 119
業務純益	806	673	132	19.7	1,488
臨時損益	61	144	△ 83	△ 57.3	357
②うち不良債権処理額	479	134	345	257.0	619
うち個別貸倒引当金繰入額	-	93	△ 93	-	470
(貸倒償却引当費用①+②)	479	85	394	460.9	500
うち貸倒引当金戻入益	86	-	86	-	-
うち株式等関係損益	425	149	275	185.0	875
経常利益	867	817	49	6.1	1,845
特別損益	△ 76	25	△ 102	-	△ 124
中間純利益	741	821	△ 80	△ 9.7	1,536
与信関係費用	392	84	307	362.5	495

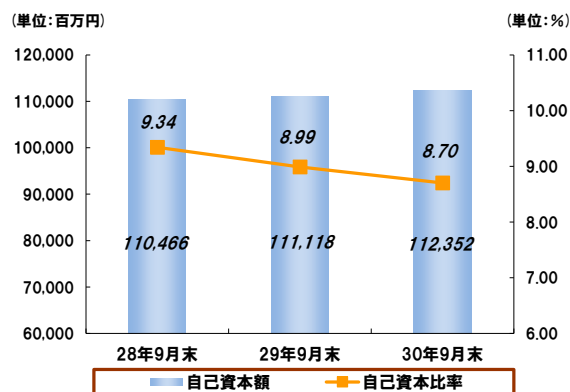
(単位:百万円)



- 経常収益は、有価証券利息配当金が減少したものの、貸出金利息、株式等売却益、国債等債券売却益が増加したことなどから、前年同期比5億46百万円増加の81億88百万円(増減率7.1%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したものの、国債等債券損益を除くその他業務利益、役務取引等利益が増加したことに加え、経費が減少したことなどから、前年同期比87百万円増加の8億6百万円(増減率12.2%)となりました。
- 与信関係費用は、貸倒引当金戻入益を計上したものの、不良債権処理額が増加したことなどから、前年同期比3億7百万円増加の3億92百万円となりました。
- 経常利益は、コア業務純益および株式関係損益が増加したことなどから、前年同期比49百万円増加の8億67百万円、中間純利益は特別損益が減少したことなどから、前年同期比80百万円減少の7億41百万円となりました。

2. 自己資本比率の状況

① じもとホールディングス連結



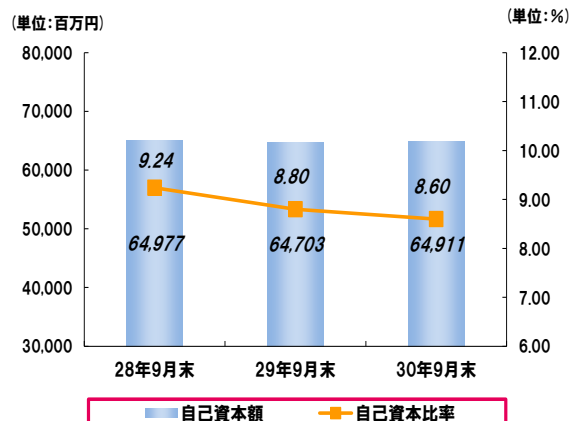
- じもとホールディングスの連結自己資本比率は8.70%となりました。

(単位: %)

	30年 9月末	29年 9月末	29年 9月末比	
			29年 9月末比	増減率
連結自己資本比率	8.70	8.99	△ 0.29	△ 3.22

② きらやか銀行

自己資本比率 (単体) の推移

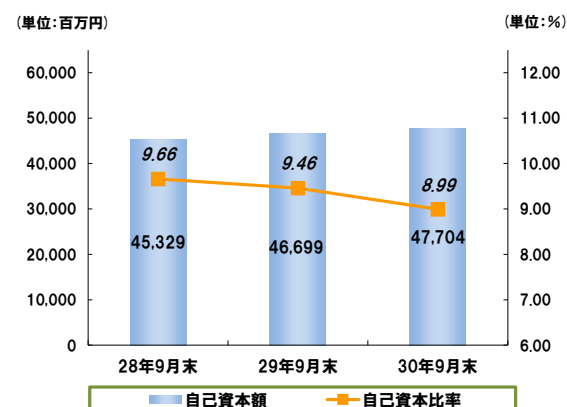


- 単体の自己資本比率は、中小企業向け貸出に注力したことに伴いリスクアセット (分母) が増加したことなどから、29年9月末比0.20ポイント低下の8.60%となりました。

(単位: %)

	30年 9月末	29年 9月末	29年 9月末比	
			29年 9月末比	増減率
自己資本比率【単体】	8.60	8.80	△ 0.20	△ 2.27
自己資本比率【連結】	8.47	8.70	△ 0.23	△ 2.64

③ 仙台銀行



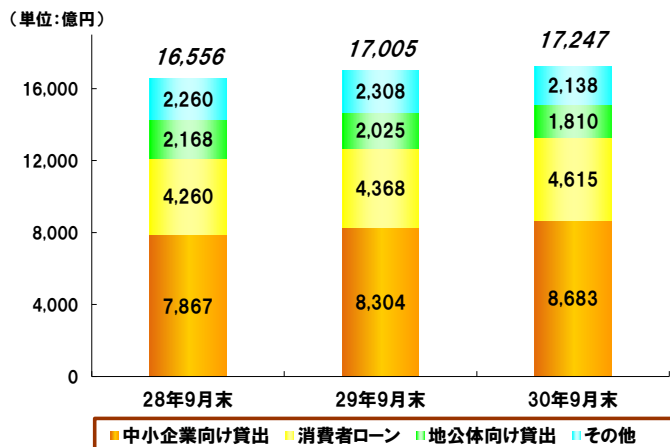
- 自己資本比率は、中間純利益を7億41百万円計上し、自己資本額 (分子) が増加しましたが、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット (分母) が増加したことなどから、29年9月末比0.47ポイント低下の8.99%となりました。

(単位: %)

	30年 9月末	29年 9月末	29年 9月末比	
			29年 9月末比	増減率
自己資本比率	8.99	9.46	△ 0.47	△ 4.96

3. 貸出金の状況

① 2行合算

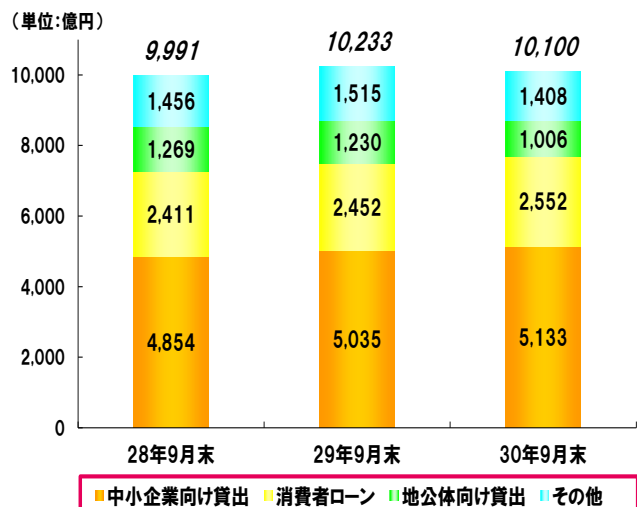


- 2行合算の貸出金残高は、29年9月末比241億66百万円増加の1兆7,247億32百万円となりました。

(単位:百万円、%)

貸出金(末残)	30年9月末	29年9月末	29年9月末比	
			29年9月末比	増減率
貸出金(末残)	1,724,732	1,700,565	24,166	1.4
うち中小企業向け貸出残高	868,346	830,407	37,939	4.5
うち消費者ローン	461,525	436,826	24,699	5.6
うち住宅ローン	418,691	392,307	26,383	6.7
うち地方公共団体向け貸出	181,004	202,513	△ 21,508	△ 10.6

② きらやか銀行



- 貸出金残高は、中小企業向け貸出や消費者ローンが増加したものの、利回りの低い地方公共団体向け貸出や市場性ローンを政策的に減少させてきたことから、29年9月末比133億3百万円減少の1兆100億67百万円となりました。

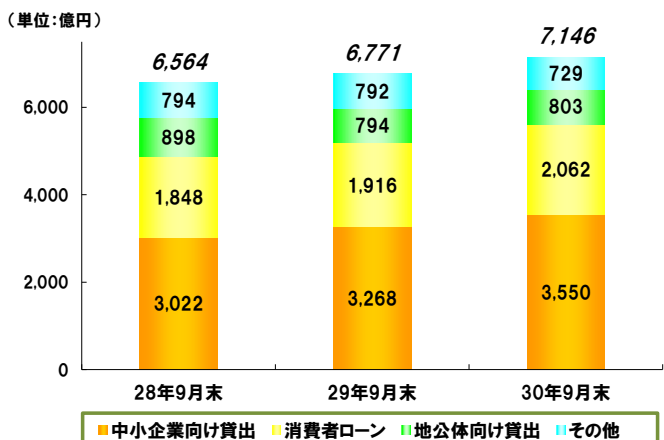
- 中小企業向け貸出は、本業支援を着実に実施した結果29年9月末比97億96百万円増加の5,133億27百万円となりました。

- 消費者ローンは、住宅ローン残高が増加したことなどから、29年9月末比100億68百万円増加の2,552億73百万円となりました。

(単位:百万円、%)

貸出金(末残)	30年9月末	29年9月末	29年9月末比	
			29年9月末比	増減率
貸出金(末残)	1,010,067	1,023,370	△ 13,303	△ 1.2
うち中小企業向け貸出残高	513,327	503,531	9,796	1.9
うち消費者ローン	255,273	245,205	10,068	4.1
うち住宅ローン	238,071	226,426	11,645	5.1
うち地方公共団体向け貸出	100,608	123,052	△ 22,444	△ 18.2

③ 仙台銀行



- 貸出金残高は、29年9月末比374億69百万円増加の7,146億64百万円となりました。

- 中小企業向け貸出は、お取引先の様々な資金需要へ迅速かつ積極的に対応したことから、29年9月末比281億43百万円増加の3,550億19百万円となりました。

- 消費者ローンは、住宅ローンの増加により、29年9月末比146億31百万円増加の2,062億52百万円となりました。

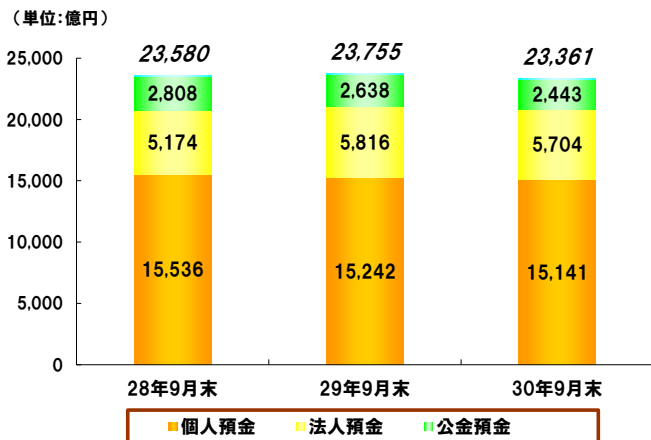
- 地方公共団体向け貸出は、29年9月末比9億35百万円増加の803億96百万円となりました。

(単位:百万円、%)

貸出金(末残)	30年9月末	29年9月末	29年9月末比	
			29年9月末比	増減率
貸出金(末残)	714,664	677,194	37,469	5.5
うち中小企業向け貸出残高	355,019	326,876	28,143	8.6
うち消費者ローン	206,252	191,621	14,631	7.6
うち住宅ローン	180,620	165,881	14,738	8.8
うち地方公共団体向け貸出	80,396	79,461	935	1.1

4. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

① 2行合算

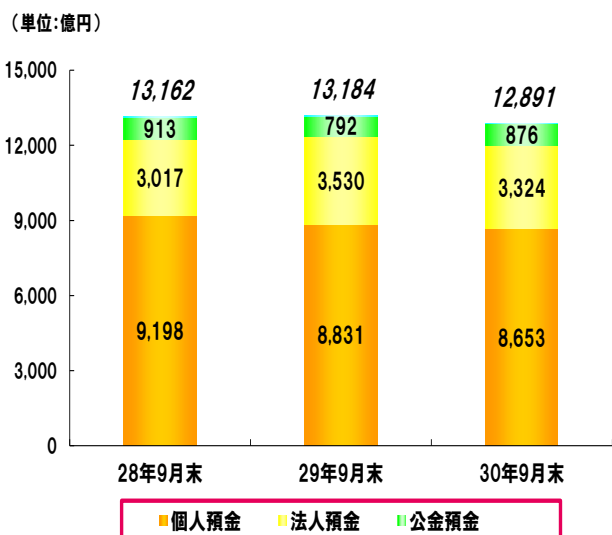


- 2行合算の預金残高は、29年9月末比394億10百万円減少の2兆3,361億74百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	30年9月末	29年9月末	29年9月末比	
			29年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,336,174	2,375,585	△ 39,410	△ 1.6
うち個人預金	1,514,108	1,524,292	△ 10,184	△ 0.6
うち法人預金	570,418	581,614	△ 11,195	△ 1.9
うち公金預金	244,355	263,880	△ 19,525	△ 7.3

② きらやか銀行



- 預金残高は、29年9月末比293億10百万円減少の1兆2,891億67百万円となりました。

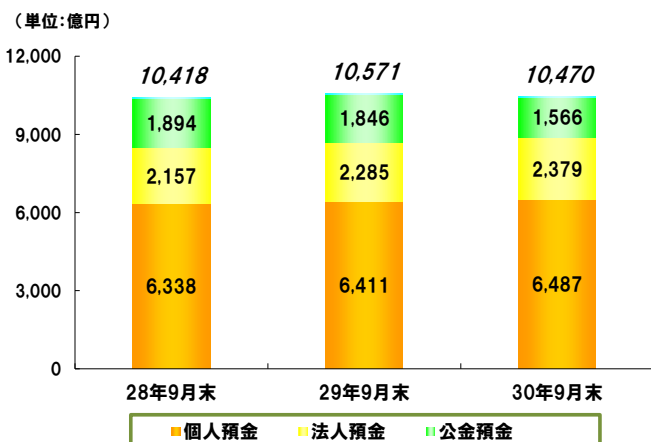
- 個人預金は、流動性預金が増加したものの、高利回り商品を抑制し定期預金が減少したことなどにより、29年9月末比177億66百万円減少の8,653億56百万円となりました。

- 法人預金は、29年9月末比205億円93百万円減少の3,324億円となりました。なお、30年9月の月中平均残高は前年同月比134億94百万円増加となり、本業支援の効果から堅調に推移しております。

(単位:百万円、%)

	30年9月末	29年9月末	29年9月末比	
			29年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,289,167	1,318,478	△ 29,310	△ 2.2
うち個人預金	865,356	883,122	△ 17,766	△ 2.0
うち法人預金	332,456	353,049	△ 20,593	△ 5.8
うち公金預金	87,694	79,270	8,424	10.6

③ 仙台銀行



- 預金残高は、法人預金と個人預金が増加したものの、公金預金の減少により、29年9月末比100億99百万円減少の1兆470億7百万円となりました。

- 個人預金は、29年9月末比75億81百万円増加の6,487億52百万円となりました。

- 法人預金は、29年9月末比93億97百万円増加の2,379億62百万円となりました。

- 公金預金は、29年9月末比279億49百万円減少の1,566億60百万円となりました。

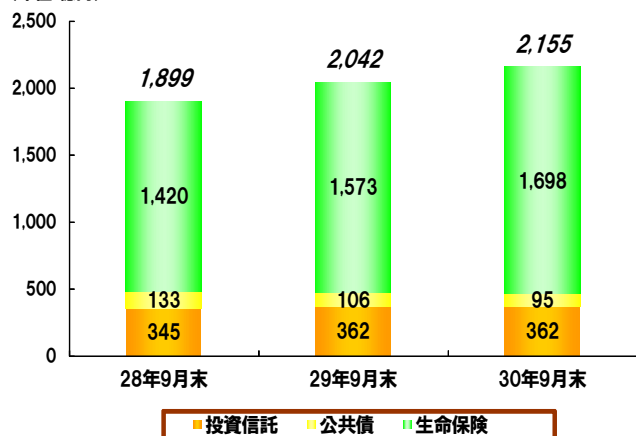
(単位:百万円、%)

	30年9月末	29年9月末	29年9月末比	
			29年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,047,007	1,057,106	△ 10,099	△ 0.9
うち個人預金	648,752	641,170	7,581	1.1
うち法人預金	237,962	228,564	9,397	4.1
うち公金預金	156,660	184,610	△ 27,949	△ 15.1

5. 預かり資産の状況

① 2行合算

(単位: 億円)



- 2行合算の預かり資産残高は、29年9月末比113億26百万円増加の2,155億30百万円となりました。

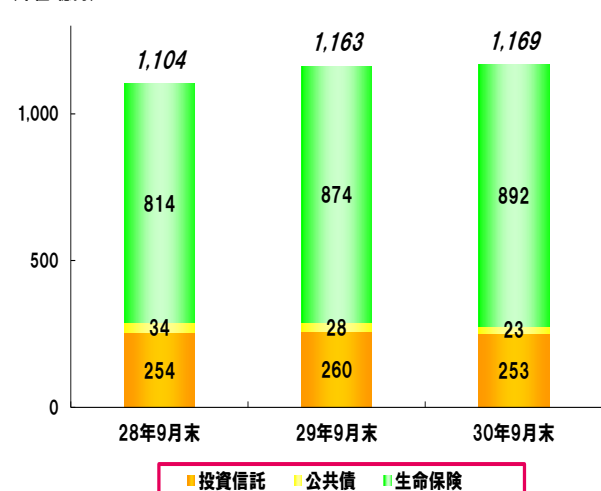
(単位: 百万円, %)

	30年9月末	29年9月末	29年9月末比	
			29年9月末比	増減率
預かり資産(末残)	215,530	204,203	11,326	5.5
うち投資信託	36,211	36,282	△ 70	△ 0.1
うち公共債(国債等)	9,500	10,603	△ 1,103	△ 10.4
うち生命保険	169,818	157,318	12,500	7.9

(注) 生命保険残高は、有効契約残高を記載しております。

② きらやか銀行

(単位: 億円)



- 預かり資産残高は、29年9月末比5億81百万円増加の1,169億47百万円となりました。

- 投資信託は、29年9月末比7億53百万円減少の253億45百万円となりました。
- 公共債は、29年9月末比4億16百万円減少の23億96百万円となりました。
- 生命保険は、お客さまの保険運用ニーズへの対応などにより、29年9月末比17億50百万円増加の892億5百万円となりました。

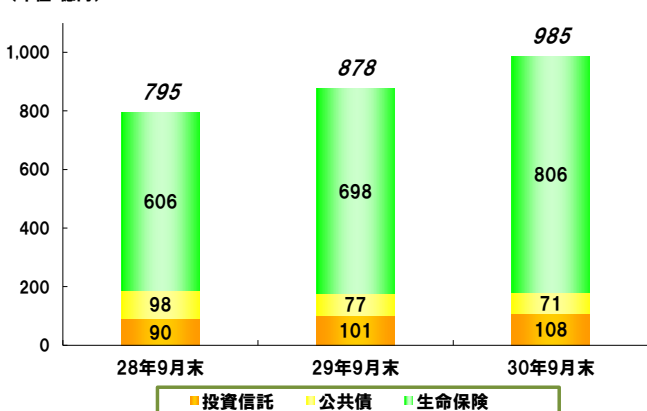
(単位: 百万円, %)

	30年9月末	29年9月末	29年9月末比	
			29年9月末比	増減率
預かり資産(末残)	116,947	116,365	581	0.4
うち投資信託	25,345	26,098	△ 753	△ 2.8
うち公共債(国債等)	2,396	2,812	△ 416	△ 14.7
うち生命保険	89,205	87,454	1,750	2.0

(注) 生命保険残高は、有効契約残高を記載しております。

③ 仙台銀行

(単位: 億円)



- 預かり資産残高は、29年9月末比107億44百万円増加の985億82百万円となりました。

- 投資信託は、29年9月末比6億82百万円増加の108億65百万円となりました。
- 公共債は、29年9月末比6億87百万円減少の71億4百万円となりました。
- 生命保険は、お客さまの保険運用ニーズが依然として高く、29年9月末比107億49百万円増加の806億12百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

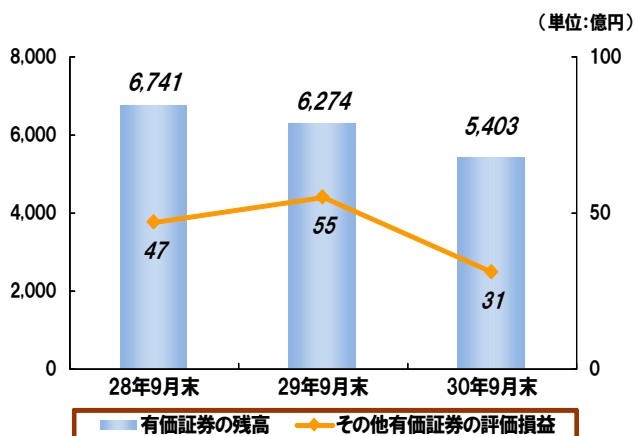
	30年9月末	29年9月末	29年9月末比	
			29年9月末比	増減率
預かり資産(末残)	98,582	87,837	10,744	12.2
うち投資信託	10,865	10,183	682	6.6
うち公共債(国債等)	7,104	7,791	△ 687	△ 8.8
うち生命保険	80,612	69,863	10,749	15.3

(注) 生命保険残高は、有効契約残高を記載しております。

6. 有価証券の状況

① 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、29年9月末比871億59百万円減少の5,403億20百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、29年9月末比23億71百万円減少し、31億29百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

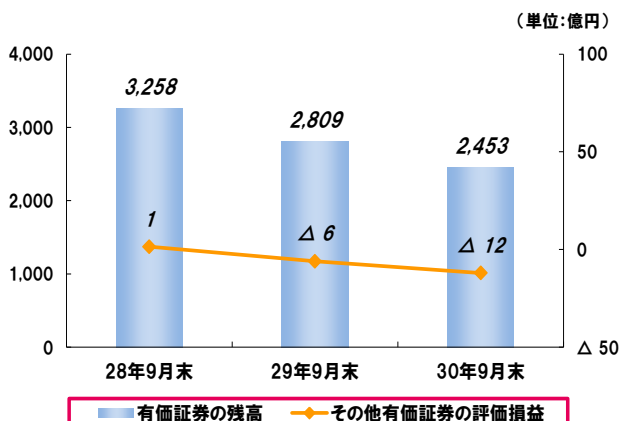
有価証券	30年9月末	29年9月末	29年9月末比	
			9月末比	増減率
有価証券	540,320	627,480	△ 87,159	△ 13.8
国債	120,647	161,066	△ 40,419	△ 25.0
地方債	88,330	84,069	4,260	5.0
社債	162,732	200,828	△ 38,096	△ 18.9
株式	20,038	20,143	△ 104	△ 0.5
その他証券	148,572	161,372	△ 12,799	△ 7.9

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

その他有価証券	30年9月末	29年9月末	29年9月末比	
			9月末比	増減率
その他有価証券	3,129	5,500	△ 2,371	
株式	2,856	4,358	△ 1,502	
債券	2,105	4,029	△ 1,923	
その他	△ 1,832	△ 2,887	1,054	

② きらやか銀行

- 有価証券残高は、運用ポートフォリオの見直しを実施したことにより、29年9月末比355億50百万円減少の2,453億78百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、債券などの評価益が減少したことにより、29年9月末比5億93百万円減少し、12億65百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

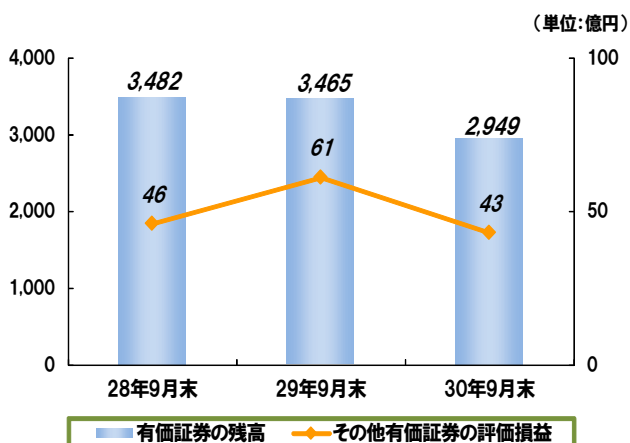
有価証券	30年9月末	29年9月末	29年9月末比	
			9月末比	増減率
有価証券	245,378	280,928	△ 35,550	△ 12.6
国債	67,311	93,224	△ 25,912	△ 27.7
地方債	14,781	7,641	7,140	93.4
社債	57,596	54,825	2,771	5.0
株式	12,224	10,961	1,262	11.5
その他証券	93,465	114,276	△ 20,811	△ 18.2

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

その他有価証券	30年9月末	29年9月末	29年9月末比	
			9月末比	増減率
その他有価証券	△ 1,265	△ 672	△ 593	
株式	525	1,032	△ 506	
債券	101	819	△ 718	
その他	△ 1,892	△ 2,524	632	

③ 仙台銀行

- 有価証券残高は、保有していた有価証券の償還・売却などにより、29年9月末比516億9百万円減少の2,949億42百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、29年9月末比17億78百万円減少し、43億94百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

有価証券	30年9月末	29年9月末	29年9月末比	
			9月末比	増減率
有価証券	294,942	346,551	△ 51,609	△ 14.8
国債	53,336	67,842	△ 14,506	△ 21.3
地方債	73,548	76,428	△ 2,879	△ 3.7
社債	105,136	146,003	△ 40,867	△ 27.9
株式	7,814	9,181	△ 1,367	△ 14.8
その他証券	55,107	47,095	8,011	17.0

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

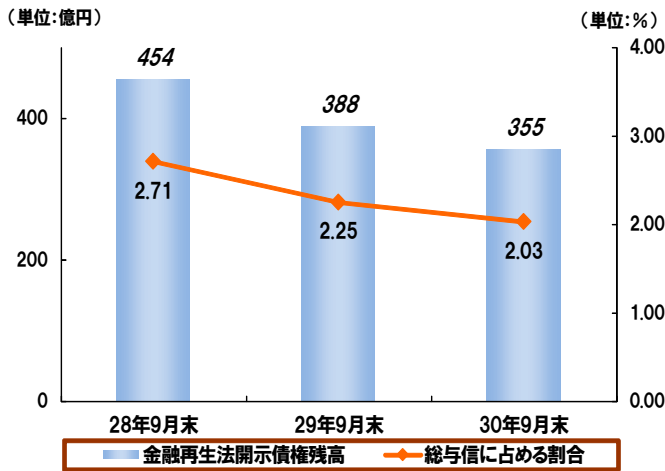
その他有価証券	30年9月末	29年9月末	29年9月末比	
			9月末比	増減率
その他有価証券	4,394	6,172	△ 1,778	
株式	2,330	3,325	△ 995	
債券	2,004	3,209	△ 1,205	
その他	59	△ 362	422	

(注)その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

7. 金融再生法開示債権の状況

① 2行合算

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、29年9月末比33億20百万円減少の355億23百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、29年9月末比0.22ポイント低下の2.03%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

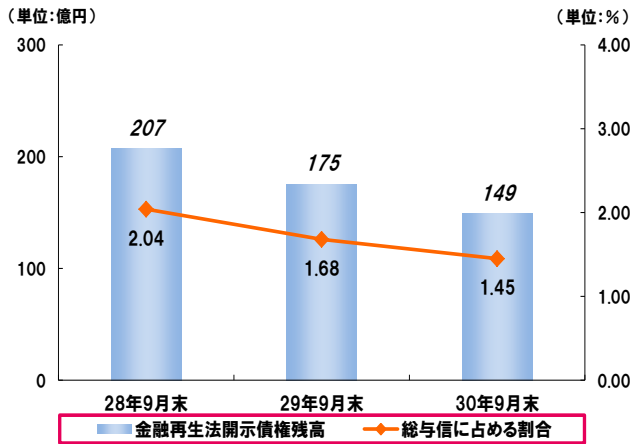
	30年9月末	29年9月末	29年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,845	4,655	189
危険債権	26,213	30,830	△ 4,616
要管理債権	4,463	3,357	1,106
合計 (A)	35,523	38,843	△ 3,320
正常債権	1,708,907	1,681,891	27,015
総与信額 (B)	1,744,430	1,720,735	23,695
(A / B)	2.03	2.25	△ 0.22

②金融再生法開示債権の保全状況(30年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,845	4,845	3,130	1,714	100.00
危険債権	26,213	24,008	19,931	4,077	91.58
要管理債権	4,463	985	574	411	22.08
合計	35,523	29,839	23,636	6,203	84.00

② きらやか銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、継続的な経営改善支援を行った結果、29年9月末比25億80百万円減少の149億92百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、29年9月末比0.23ポイント低下の1.45%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

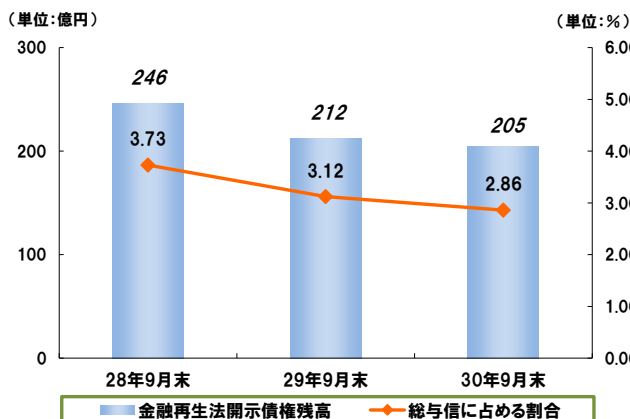
	30年9月末	29年9月末	29年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,125	2,981	144
危険債権	8,922	11,791	△ 2,869
要管理債権	2,945	2,801	144
合計 (A)	14,992	17,573	△ 2,580
正常債権	1,012,187	1,022,613	△ 10,425
総与信額 (B)	1,027,180	1,040,186	△ 13,005
(A / B)	1.45	1.68	△ 0.23

②金融再生法開示債権の保全状況(30年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,125	3,125	1,865	1,259	100.00
危険債権	8,922	7,285	6,693	592	81.66
要管理債権	2,945	607	207	399	20.61
合計	14,992	11,018	8,766	2,251	73.48

③ 仙台銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、29年9月末比7億39百万円減少の205億30百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、29年9月末比0.26ポイント低下の2.86%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

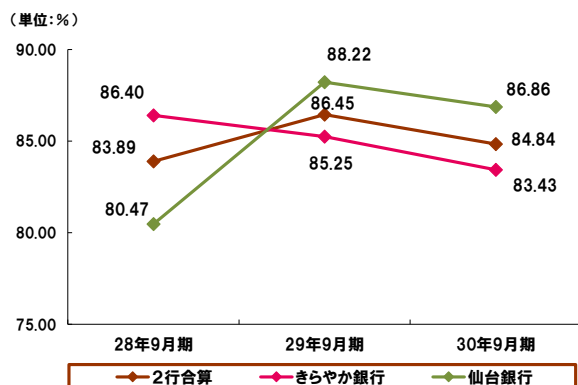
	30年9月末	29年9月末	29年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,720	1,674	45
危険債権	17,291	19,039	△ 1,747
要管理債権	1,518	556	961
合計 (A)	20,530	21,269	△ 739
正常債権	696,719	659,278	37,440
総与信額 (B)	717,249	680,548	36,701
(A / B)	2.86	3.12	△ 0.26

②金融再生法開示債権の保全状況(30年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,720	1,720	1,265	455	100.00
危険債権	17,291	16,723	13,238	3,485	96.71
要管理債権	1,518	378	366	12	24.92
合計	20,530	18,821	14,869	3,952	91.67

8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR（債券関係損益を除く）は、29年9月末比1.61ポイント低下し、84.84%となりました。



(単位:%)

コアOHR	2行合算	28年9月期	29年9月期	30年9月期	28年9月期比	29年9月期比
		きらやか銀行	86.40	85.25	83.43	Δ 2.97
仙台銀行	80.47	88.22	86.86	6.39	Δ 1.36	

9. 平成31年3月期 業績予想及び配当方針

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの平成31年3月期の連結業績予想は、経常利益30億円、親会社株主に帰属する当期純利益26億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの平成31年3月期の中間配当金は、1株あたり2円50銭をお支払いいたします。また、期末配当金は、1株あたり2円50銭を予定しております。

(単位:百万円)

	31年3月期	(参考) 30年3月期
経常利益	3,000	3,717
親会社株主に帰属する当期純利益	2,600	3,018

基準日	中間	期末	年間
配当予想	2円50銭	2円50銭	5円00銭
(参考)30年3月期	2円50銭	2円50銭	5円00銭

② 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益18億円、当期純利益16億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益13億円、当期純利益11億円を見込んでおります。

きらやか銀行

(単位:百万円)

	31年3月期	(参考) 30年3月期
経常利益	1,800	2,469
当期純利益	1,600	1,952

仙台銀行

(単位:百万円)

	31年3月期	(参考) 30年3月期
経常利益	1,300	1,845
当期純利益	1,100	1,536